

研究課題名	看護師主導の院内脳卒中即応システムの有効性と運用改善に関する包括的研究：非専門病棟を含む全院レジストリと時間指標の継続評価
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	脳神経内科 一條 真彦
研究期間	臨床研究倫理審査委員会承認日 ～（西暦）2028年3月
研究の意義・目的	院内で脳卒中が疑われた患者に対して、看護師が脳卒中専門部署へ直接連絡する即応システムの効果を、全院レジストリで後方視的・前向きに継続評価します。非専門病棟を含めた「気づき→要請→画像→治療判断」までの時間短縮やばらつきのは正（標準化）、症状別の診断妥当性、教育浸透の効果を明らかにし、運用改善に活かします。
研究の方法 （対象期間含む）	方法：電子診療録・検査記録・院内コールログ等から必要項目を匿名化して抽出し、統計解析を行う観察研究です（単施設、後方視的+前向き継続レジストリ）。結果は集計値のみ公表し、個人が特定される情報は含みません。 対象：研究期間内に院内脳卒中即応システムの要請が発生した入院患者、ならびに院内発症脳卒中疑いで記録が作成された症例（年齢・性別不問）。導入前の院内発症血栓回収症例も比較として含みます。 利用する情報：年齢・性別、入院病棟（内科系/外科系/他）、入院疾患分類、症状、時間指標、最終診断（脳梗塞/TIA/その他）、治療の有無（tPA/EVT等）。※氏名等の直接識別情報は含みません。
①試料・情報の利用 目的および利用方法	①～③ 抽出データは研究用IDに置換し、氏名・住所・電話・生年月日・病院ID等の直識別子は解析データから除外します。リンクファイルは院内閉域で別保管し、アクセス権限は責任者とデータ管理者に限定。保管期限満了後は復元不能な方法で廃棄します。
②利用し、又は提供 する試料・情報の項目	同意の方法（オプトアウト） 既存記録を用いる最小リスク研究のため、病院HPおよび院内掲示で研究内容を公開し、研究への利用を望まれない方には拒否機会（オプトアウト）を設けます。
③試料・情報の取得 の方法	外部提供の有無 学外への個別データ提供は原則行いません（必要時は倫理審査・契約等の手続きを経た上で、匿名化データに限定）
④利用する者の範囲	
⑤試料・情報の管理 について責任を有する 者の氏名又は名称	④研究責任者、研究分担者 ⑤武蔵野赤十字病院 脳神経内科 一條 真彦 武蔵野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 脳神経内科 氏名 一條真彦 TEL：0422-32-3111（代表）6771（事務局内線） FAX：0422-32-3525